

農業後継者育成基金事業

令和2年度農大就農促進対策助成事業

事業主体名 鹿児島県立農業大学校

1 目的

本校の入学者は、経営基盤の整っていない兼業農家、非農家の割合が増加しており、卒業後に就農するためには、農地の確保、機械・施設の取得などに多額の資金や期間を要することから、本校で学習した専門的な知識技術を自らの営農として生かすことができない学生も少なくない。

今後、就農・就職相談会等への参加を通じ、早い時期から農業法人の理解促進を図り、非農家出身の学生を主とした雇用就農への意欲喚起及び就農促進を図る。

そこで、企業的な農業経営を行っている農家や農業法人の取り組みについて、経営者の講話や現地視察を通じて、理解促進を図り、就農対策の一助とする。

2 実施状況

(1) かがしま就農・就業相談会での相談活動

新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで、1年生の次世代人材投資資金申請者等20名がかがしま就農・就業相談会に参加した。

法人との直接面談により具体的に内容が把握でき、進路選択に当たっての貴重な情報収集の場となった。



3 今後の課題、取り組み

今後も引き続き、本県の農業を担う人材の育成・確保を図るために、本事業を活用し、就農促進のための取り組みの充実・強化を図る。